

い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
[http://www.city.ikeda.  
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

いけだ  
No.148  
だ

いけだ市議会だより

平成28年(2016年)5月1日



久安寺本堂

<b>3月定例会</b> . . . . .	2
意見書 . . . . .	3
議会日誌 . . . . .	3
議決結果 . . . . .	3
<b>各派代表質問</b> . . . . .	4
<b>委員会レポート</b> . . . . .	11
やまばと . . . . .	12

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



# 3月定例会



3月定例会は、2月29日に開会し、政務活動費の交付に関する条例の一部改正の議員提出議案を可決するとともに、市長から提出された報告案件1件と議案42件、並びに人事案件1件を本会議及び委員会で審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

特に今議会は、昨年末の市長選挙後初の新市長出席の定例市議会となったため、市長の今後の市政に対する「所信表明」並びに「平成28年度施政及び予算編成方針」が発表され、それに対する各派代表質問を3月4日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論が行いました。

そして、3月25日には、市長から提出された追加議案26件と追加の人事案件5件、並びに議員提出議案2件を審議し、いずれも原案どおり可決して3月定例会を閉会しました。

## 一般会計予算は345億円

平成28年度予算総額は、809億2196万円で前年度当初予算と比べて0.4%、3億50991万円の減となっています。また、一般会計予算は345億5600万円、前年度当初予算と比べて6.6%、24億3500万円の減となっています。

「支援日本一」をめざし、金融機関と連携し、「妊活」、「育活」に必要な融資に対する利子負担を軽減するための妊娠・出産・子育て応援事業など、合計で9億9041万円が計上されています。教育分野では、「教育日本一」をめざし、民間と連携して家庭学習を支援する地域学習教室事業など、合計で7190万円が計上されています。

一般会計予算の反対意見として、学校や地域学習教室などにおいて、習熟度別クラス編成を行うのではなく、きめ細やかな指導を行うために少人数クラス編成を行うべきである、「池田市行財政改革推進プランⅡ」に則った本予算は、市民サービスの低減を招き、地域経済の活力が低下する要因になるなどの意見がありました。

## 待機児童と照明柱転倒緊急対応の補正予算を可決

一方、賛成意見としては、不育症の治療に要する費用の一部を助成する制度の創設など妊娠・出産・子育て支援の新規事業で4事業を予算化してきめ細やかな対応がなされている、限られた予算の中で将来を見据え、市民生活を低下させることのないよう配慮された予算編成であるとの意見があり、賛成多数をもって原案通り可決しました。

平成28年4月当初で待機児童が100名近く発生する見込みとなったため、緊急対応宣言を発し、石橋駅周辺での小規模な保育ルームの整備、並びに2月11日に猪名川運動公園で発生した照明柱転倒事故を受けて、市内の照明柱を緊急点検して、対応が必要な箇所の修繕を行うことに対する一般会計補正予算が追加議案として提出されました。

副市長に 藤田雅也氏  
教育長に 木田公彦氏  
田淵和明氏

本市の保育施設の需要推計と今後の方策、公園だけでなく共同利用施設の照明柱の点検状況などについて議論がありました。全会一致で可決しました。

## 池田市制施行以来初の女性部長が誕生

今定例会で、副市長に前管理部長の藤田雅也氏と前総務部長の木田公彦氏の選任、並びに教育長に元教育部長で前渋谷中学校校長の田淵和明氏の任命に同意しました。任期は4月1日から副市長は4年間で、教育長は3年間で。

# 議 会 目 誌

## 意見書

3月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○公契約法の制定を求める意見書

2月	2月24日	予算内示会
		各派代表者会議
		議会運営委員会
		市議会定例会
	2月29日	市議会定例会
		市議会定例会
		特別委員会
3月	3月4日	市議会定例会
	3月7日	各派代表者会議
		議会運営委員会
		市議会定例会
	3月9日	土木消防委員会
	3月10日	厚生委員会
	3月11日	文教病院委員会
	3月16日	総務委員会
	3月18日	各派代表者会議
	3月18日	各派代表者会議
	3月25日	議会運営委員会
		市議会定例会
4月	4月12日	市議会定例会
		特別委員会
	4月18日	市議会定例会
		特別委員会

### ○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
処分報告について 専決第10号 池田市市税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	承認(全員異議なし)
池田市行政不服審査会条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
審査請求における提出書類等の写しの交付に関する手数料条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
行政不服審査法の施行等に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
職員の退職管理に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
池田市健全な財政運営に関する条例の制定について	原案可決(賛成多数)
池田市地域支援事業等運営協議会条例の制定について	原案可決(賛成多数)
池田市空家等対策協議会条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律に係る手数料条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
一般財団法人池田市公共施設管理公社に関する検討委員会条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
池田市地域分権の推進に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市事務分掌条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市情報公開条例等の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市介護保険条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市建築審査会条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市長期優良住宅の普及の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市都市の低炭素化の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市世界に誇れる安全で安心なまちづくり条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市火災予防条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市財政審議会条例の廃止について	原案可決(全員異議なし)
池田市立山の家条例の廃止について	原案可決(全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同意(全員異議なし)
平成27年度池田市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
平成27年度池田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
平成27年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
平成27年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決(全員異議なし)
平成27年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全員異議なし)

### ○議員提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
池田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市議会会議規則の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市議会常任委員会及び特別委員会条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)

# 代表質問

公明党議員団

馬坂哲平 多田隆一  
荒木眞澄



質問者 荒木眞澄

「誰も置き去りにしない」  
市民に軸足をのいた市政を

人材育成基本方針で  
めぐる職員像

問 昨年2月公表の「人材育成基本方針」では、めざすべき職員像は、「市民とともに、地域の課題を解決し、未来を創る職員」と規定。この規定こそが、全ての市職員のあり方と考えるが見解を問う。

地域課題に  
提案と実践してくれる職員

答 住民とともに、「市民の視点で、成功するまでやり遂げる」や「自ら考え調査し、複数の選択肢を提案、実践できる」など、複数の考え方を示せる職員の育成に努めてまいる所存。

病児保育は喫緊の課題  
拡充策は

問 病後児保育だけでは子育て中の親の負担が十分に軽減されないことから、「病児保育の実施」を次の課題として、今日まで議会で取り上げてきた。具体的な拡充策並びに予算措置について問う。

市立池田病院内に  
設置を検討

答 現在実施している病後児保育所と併せて、市立池田病院内に設置の方向で、早急に検討を進める。

妊娠から出産の  
サポート体制は

問 「ネウボラ」の日本版「子育て世代包括支援センター」への期待が高まる中、当市での妊娠から出産、子育てにおける訪問型サービスのサポート体制について問う。

助産師やホームヘルパー  
が支援

答 対象者の状況を確認し、支援の可否や内容を決定。母体ケア・乳児ケアは助産師、新たに家事・育児支援はホームヘルパーが訪問して支援を実施予定。

子どもへの課題支援について  
問う

問 「いじめ」は絶対に「悪」との考えから、関係者全体と連携して解決をめざすスクールソーシャルワーカーの新年度の拡充予定及び今後の計画について問う。

今後配置の拡充などを  
支援予定

答 平成28年度の市費については200時間の配置を予定。きわめて小中学校からのニーズが高いことから、今後も配置の拡充などによるきめ細やかな支援を行う。

学校のトイレ改修について  
問う

問 我が党派の重点予算要望事項の、公立学校のトイレ改修について、スピーディーな取り組みを強く要望するが。

任期中に  
全学校の改修を実施

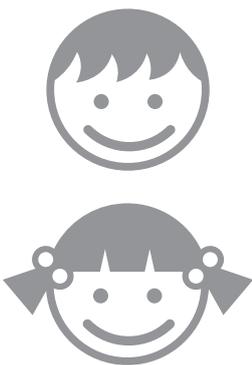
答 国費も活用した全体的な計画を策定し、任期中に全学校のトイレ改修が可能となるよう努力する。

待機児童対策は  
緊急事態では

問 池田市始まって以来の緊急事態に突入と認識。今後の受け入れ枠の拡充について、見解を問う。

非常事態宣言を発令し  
対応を図る

答 3月中に非常事態宣言なるものを発し、4月に予想されるであろう待機児童を、たとえ10人でも20人でも受け入れる手だてを講じていきたい。





# 各派



質問者 小林 吉三

## 日本共産党議員団

藤原 美知子 白石 啓子  
小林 吉三

### 福祉・医療・教育施策の拡充で、市民の願い実現を

#### 保育所入所待機児の解消を求める

問 民間、民営化頼みの保育枠拡充となっている。民営化が保育士の労働条件の低下を招き、全産業の平均賃金より10万円も下回る実態が、保育士不足・保育の質の低下につながっている。

#### 民間への助成で保育士を確保する

答 保育の内容は、保育指針などで担保されている。民間の保育所に、国・府または市が人件費の助成をし、待遇改善を図るほうが保育士確保につながる。

#### 介護保険の市事業移行への対策は

問 要支援1・2の訪問・通所介護は介護保険サービスから、市町村による地域総合支援事業に移行されるが、市への移行は現行サービスを維持すること。

さらに国では要介護1・2を介護保険から切り離す動きがあるが、これに対する見解と対応を問う。

#### 要支援サービスは低下させない

答 要支援1・2の地域支援事業への移行は、現行サービスを低下させないよう努める。要介護1・2まで地域へ移行するのであれば、国が財源の手当てをしたうえで、地域に移譲すべきである。市長会を通じて地域の声を述べていく。

#### 学校トイレの洋式化を早急に

問 トイレの洋式化は子どもや保護者、教職員の要望が強い。年次計画を作り順次進めるよう求める。

#### 任期中に改修を完了させたい

答 平成28年度は小学校、中学校各1校の改修を予定。二一スが高いため、規模を大きくし国の補助金を活用して改修を進め、その後1〜2年で全ての学校のトイレ改修が完了するよう努力する。

#### 差別選別の習熟度別教育のやめよ

問 どの子にもわかる教育を進めるのが義務教育の役割。習熟度別指導は、子ども達に差別・選別意識を持ち込み、優越感・劣等感を生む。子どもの心を傷つけ、いじ

めや不登校にもつながる。少人数学級こそ効果があり、進めるべき。

#### 習熟度にあわせた指導をする

答 35人学級は財政が厳しく難しい。習熟度にあわせ指導をしていくことのほうが、結果的には基礎知識を向上させられる。

#### 市立池田病院の診療科目充実を

問 余命わずかで退院を迫る事無いよう、終末期医療の導入を図ってはどうか。少子化対策、子育て支援にとって不可欠な小児科、産婦人科の一層の拡充を求める。

#### 病棟再編の中で終末期医療を検討

答 終末期医療は、病棟再編に向けた中期計画見直しの中で検討する。小児科医・産婦人科医不足は医療機関と連携し、切れ目のない対策に努力する。



# 代表質問

民社クラブ議員団

内藤 勝 前田 敏



質問者 内藤 勝

歴史・文化遺産を生かした  
安全・安心・潤いのあるまち

## 市長選での 市政停滞の発言主旨は

問 昨年12月の市長選では、「小南池田市政は停滞しているので、市長選に立候補する」と発言され、選挙を戦われたが発言の主旨は。

## 市長選では 停滞を述べたのだが

答 市長選では市政の停滞について述べてきたが、現市長として前市長の批判はしない。市政を一步でも二歩でも前進させていきたい。

## がんがら火祭りの 将来展望は

問 府指定無形民俗文化財のがんがら火祭りは池田にとどまらず、大阪の祭りとなっている。昔は城山町の祭りとして守られてきたが、今は、大文字・大文字の両がらから火保存会が伝統を守っている。いずれ肥松の調達が難しい時期が来ると思うが、将来展望を本市としてどのように考えるのか。

## 伝統の灯を消さないように 支援を

答 以前は3基を出して頂いたことなどもあり、賑わいを感じた。言うのは簡単だけれど、財源や肥松の準備などいろいろな問題が

ある。肥松は、徳島の阿波池田にいい物があると聞いているけれども、山から出すことや小割にすることが難しいとのこと。

保存会の意向を聞き、伝統の灯を消さないようにしたい。

## まちなみ保存区域 対象区域変更は

問 現在、代表的なまちなみ保存区域は栄本町であり、「歩いて歴史と文化を感じるまちづくり」、

「歴史的・文化的資産を生かすまちづくり」として保存されてきた。「まちなみ保存補助事業」制度を区域から路線に変更されるメリット、デメリットについて問う。

## 観光施設や文化施設の 繋がり

答 補助制度開始以後、本町通りや栄町商店街を中心に25件の補助金を交付してきた。

メリットは、路線に変更することで観光施設と文化施設とのつながりが生まれ、町並み景観と人の流れを創出できる。デメリットは、路線沿いに限定するため対象建物がおのずと限られる。

## 妊活・育活の支援、 不育症助成

問 妊活・出産支援として妊娠前から出産・子育てを切れ目なく支援強化するため妊娠期からの相談支援の充実や訪問型サービスによる育児サポートの具体的内容は。

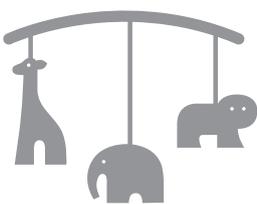
また、妊娠はするが流産や死産を繰り返す不育症の治療費への新設される助成の内容は。

## 要望を受けて 支援・一部助成

答 4月から妊活・出産・子育て期の家庭を応援するため、池田泉州銀行の「妊活・育活応援ローン」の融資を受けたものに対し、その利子の2%程度を補助金として支給する事業を開始する。

また、不育症治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、1治療につき上限30万円まで3回を上限に助成する制度を新設する。

何人に適用できるかは不明であるが、茨木市が実施している。



# 各派



【質問者】 渡 邊 千 芳

## 市民クラブ議員団

渡 邊 千 芳 川 西 二 郎  
山 田 正 司 三 宅 正 起  
中 田 正 紀

行財政改革で自然豊かで  
環境にやさしい安心なまちを

### 行革に対する 基本的な考え方は

**問** 行財政改革は、市民の暮らしをより良くするための将来を見据えた制度改革である。「どこまで行政が担うのか」「どこまで市民に負担させるのか」など、市長の行革に対する基本的な考え方は。

### 事務事業を徹底検証

**答** 事務事業評価等で各事業を徹底検証し、行政の守備範囲については「引き続き行政が担うべき事業」「民間等が担うほうが効果的、効率的な事業」「実施意義がなくなった事業」に、受益者負担の可否については「市民全体の利益に係る事業」「限られた市民の利益に係る事業」「実施意義がなくなった事業」に整理した上で決定する。結果等は適宜市民に提示する。

### 細河まるごと テーマパークに

**問** 細河の魅力は自然の豊かさ、植木や園芸、希少価値のある動植物の宝庫などである。  
この魅力を有効に使い、大都市に近く、日本の原風景があり、日本人の心の原点である細河をまるごとテーマパークにしてはどうか。

### 細河未来夢プランで 考えてもらおう

**答** テーマパークは池田市全域を想定して、各地域の特性を生かして構想していただく。

確かに、細河は他の地域にはない魅力が満載しているので、細河未来夢プラン2030推進会議で協議していただくと考えている。

### 地域の中で 福祉と医療の連携を

**問** 地域で課題を抱えた高齢者のみならず、障がい者、児童、ひきこもりなども地域で支えあう地域包括ケアシステムが始まろうとしているがその内容は。また、在宅医療も含めた福祉と医療の連携は。

### 地域力の高い ケアシステムを構築

**答** 今後、介護予防、日常生活支援総合事業や包括的支援事業に取り組む中で、地域力の高い地域包括ケアシステムを構築していく。

また、障がい者子どもなど支援を必要とする全ての人についても、各部署の連携や地域の支えあいで包括して取り組んでいく。  
医療との連携は平成30年度の開始に向けて体制整備を行っていく。また、池田病院では在宅医療を支

えるための検討部会を立ち上げる。  
【コミュニティスクールの検討を

**問** 学校・家庭・地域のつながりの中で教育コミュニティは重要である。学校園協議会の再構築及び地域で子どもを支えあうコミュニティスクールの検討を。

### 地域全体で 子どもたちを支援する

**答** 昨今、教育コミュニティづくりがますます重要視されてきており、池田市においても、学習支援や登下校安全見守り、放課後居場所づくりなど地域全体で子どもたちの学びと育ちを支援している。

今後は、文部科学省の意向をふまえながらコミュニティスクール制度の導入を検討していく。



# 代表質問

自民同友会議員団

木下克重 細井 馨  
小林 義典



質問者 木下克重

市民が主役・時代に即応した  
市政の推進と実現を

## 市長選挙の敗北はなぜか

問 昨年12月の市長選挙の得票率は、46・98%で、半数は批判票である。この結果をどのように受けとめておられるのか。

## 市民の声を真摯に受けとめる

答 半数以上の市民の票は、批判票と受けとめ、より謙虚に市政運営に努めていく。

## 「教育日本一」をいつか実現したい

問 所信表明の中で、3つの大きな夢をおっしゃっているが、一つ目は「教育日本一」の実現である。今まで取り組んできた施策をさらにグレードアップされようとしているが、具体策は何か。

## 新たな事業を展開していく

答 今まで取り組んできた小中一貫教育や外国語教育、音楽教育などを継続・拡充する。

さらに新規事業の指導者派遣事業・地域学習教室事業・幼稚園通級指導教室の開設などを機に、「教育日本一」を合言葉にしなが、学力の向上のみならず、何か

一つでも秀でたところを作り上げていくために、教育委員会とともに、これまでの教育関連事業を継続・発展させていく。

## 「子育て支援日本一」の具体策は

問 所信表明で「子ども・子育て支援日本一」の実現をおっしゃっていたが、今までも他にない子育て支援事業を展開されてきたが、さらにグレードアップされようとしているのか。

## 子育て支援のさらなる拡充

答 将来の人口減少は、全国的な課題であり、課題解決に向けて、地域における少子化対策の重要性が着目されている。

具体的には、認定こども園の整備などによる受け皿の拡充、「子育て」と「仕事」の両立のための病児保育所の整備、ニーズに合わせたきめ細やかな子育て支援と利用者支援事業の実施、妊娠・出産・育児サポートなどを中心に子ども・子育て支援施策の拡充に努めていく。

## 給食センターの建てかえと場所は

問 学校給食センターは、建設してから、40年を経過しており、一度は改修したもの、もう寿命にきている。

2年前に提案させていただいたが細河小学校の跡地に移転させ、同時に中学校給食もセンター方式にて実施すべきであると質問させて頂いた。

財政的に大きな予算を伴うものであるが、今後どのように展開されるのか。

## 本年中に一定の方向性を決定する

答 2年前の提言については重く受けとめており、提言内容の小中学校の給食については、教育面、候補地、建設手法や提供方式などを総合的に検討し、平成28年度中に一定の方向性を決定する予定である。



# 各派



【質問者】 浜地 慎一郎

## 自由クラブ議員団

浜地 慎一郎 倉田 晃

### 教育・福祉施策の拡充で 市民主体の行財政運営を

#### インバウンドへの 具体的施策は

問 インスタントラーメン発明記念館や池田城跡公園などの観光スポットが世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」で高い評価となっている。  
しかし、周辺商店に対しての消費の影響が少ない。インバウンドに対しての総合的なフォローアップが必要だと思うが。

#### 重点事業としての位置づけ

答 平成28年度は外国人観光客に対するアンケート調査を大阪成蹊大学の学生と実施。

また、いけだ街あるき観光施設等担当者会議においてインバウンド部会を設置予定。具体策として官学民の担当者と連携し、海外のプロガラの活用や海外旅行社へのプレゼン、海外誌への掲載を予定。

#### 平成28年度の 待機児童の状況は

問 本市ではこれまで4月当初の待機児童数は0人を保ってきた。来年度は近隣市でも増加傾向にあるようだが、本市の現況は。

#### 100名近頃の 待機児童が発生

答 北摂各市においても増加する見込み。早期解消に向けて、2歳児を対象にした小規模な保育室の開設について検討中。早い時期に対応できるよう取り組む。  
平成29年度以降は、幼保連携型認定こども園及び認可保育所を順次整備する予定で、待機児童を発生させることのないよう努める。

#### 地域学習教室事業の 今後の展開は

問 当事業は平成28年度の重点施策の一つとして拡充されるが、今後どのように展開されるのか。

#### 細河・伏尾台地域にも 開設予定

答 現在中学3年生としている対象者を複数学年に拡大。

また、これまでの池田教室・石橋教室に加えて、細河・伏尾台地域にも教室を開設する予定。

#### 寄附金収入増に向け 今後の展望は

問 ふるさと納税制度について謝礼品に頼る自治体が多い中で、本市独自の取り組みは。

#### みんまち寄付制度を 積極的に活用

答 平成20年4月施行の「池田市みんまち寄付条例」を参考に、謝礼品だけに頼らず寄付金の使いみちの充実や透明化などを通じ、市内外より多くの方に「池田を応援したい」と思ってもらえるよう仕掛けを検討する。

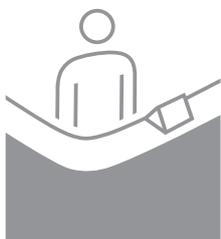
#### 府営住宅の 本市への移管の目的は

問 府営住宅の本市への移管について、その目的と活用策は。

#### 本市の政策目的に 合うように活用

答 本市が府営住宅について政策決定に関与できていない現状を解消することを目的とする。

現在実施されている福祉相談や子育て広場などのサービス提供場所として活用する目的外使用制度についても引き継ぎを検討し、良好な社会的資産として活用していきたい。



# 各派代表質問

## 大阪維新の会池田議員団

石田 隆 史 富田 裕 樹  
羽田 達 也



質問者 石田 隆 史

### 市民とともに考える 住民本位の新しい池田市政をめざす

#### 本年度の予算編成について

**問** 今回の予算編成にあたって、どのようにして無駄な事業の見直しを行ったのか。

**答** また、どのような改革によって新しい施策実現の財源を生み出したのか。

#### 既定経費の縮減に努めた

**答** 市税収入の低迷や社会保障関係費の増大が続き、本年度の予算編成は極めて困難であったが、「池田市行財政改革推進プランⅡ」に基づき、既定経費の縮減に努めた。また、新しい施策実現のために、具体的には、公共施設管理公社への支出を見直して、約6千万円を確保した。

#### 子ども・子育て支援の取り組みは

**問** 「子ども・子育て支援日本一」を実現させる施策とは、どのようなものか。

**答** また、その予算は幾ら必要で、財源はどのようするのか。

#### 「こども・子育て支援」の取り組みは

**答** 認定こども園の整備などによる受け皿の拡充や、「子育て」と「仕事」の両立のための病児保育所の整備、並びに妊娠・出産・育児サポートを中心に支援施策の拡充に努める。

これらの施策にかかわる費用は約9億9千万円を予定しており、その実施には国の交付金を有効に活用していく。

#### 「教育日本一」の取り組みは

**問** 「教育日本一」を実現させる具体的な施策とは、どのようなものか。

**答** また、その予算は幾ら必要で、財源はどのようするのか。

#### 新たな3事業を実施予定

**答** これまでの既存の教育事業に加えて、本年度より新たに、「小中学校指導者派遣事業」、「地域学習教室事業の拡大」、「幼稚園通級指導教室」の3事業の実施を予定している。

新規事業には、約5千万円が必要で、その財源は健全で効率的な行財政運営の中で確保していく。

#### 地域分権 新たな参画者について

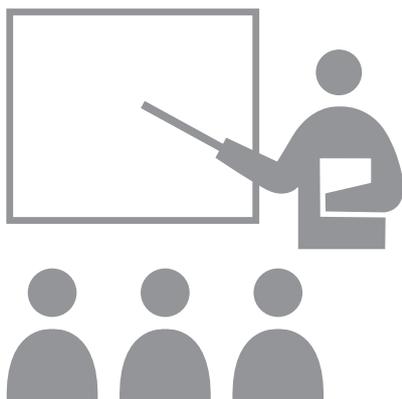
**問** 全国初、池田発の地域分権制度も協議会の設立から10年が経過し、課題や問題点も散見する。

協議会メンバーの固定化や高齢化もその一つであるが、この問題に解決策はあるのか。

#### 地道な周知活動が必要

**答** 協議会の会員の固定化や高齢化、若年層や女性の参画者の少なさは認識している。

行政においては、フォーラムの開催やコミュニティ紙による広報など、地道な周知活動を実施する。また、各地域においては思いのある人への個別の働きかけも必要であると考えている。



# 委員会 レポート



3月定例会では、市長から提出された議案のうち42件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

3月25日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

### 財政運営に関する条例の最大の特徴は

〈健全な財政運営に関する条例の制定他〉

**問** 健全な財政運営にかかわる条例は、他市でも制定されているところがあるが、本条例における最大の特徴について問う。

### 臨時財政対策債の発行抑制に取り組むことを規定

**答** 決算剰余金を活用し、臨時財政対策債、いわゆる赤字地方債の発行抑制に取り組むことを規定している点が本条例の最大の特徴である。

この規定は、一般会計で黒字決算となった場合、地方財政法により、まず2分の1以上の額を財政調整基金に積み立て、次にその残額を活用して、赤字地方債の発行を抑制していくという主旨である。

つまり、財政調整基金への積み立てにより現役世代へ、赤字地方債の発行抑制で将来世代へ、それぞれ還元していくこととするものである。

## 共同利用施設の再編整備 現状と今後は

〈一般会計予算〉

**問** 平成25年度より池田市市有施設再編委員会を立ち上げ、市内に34館ある共同利用施設の再編整備が検討されているが、現在の検討状況及び今後の方向性を問う。

### 地域住民と今後の方向性を協議

**答** 平成27年度に再編の検討結果を公表し、34館のうち7館を再編対象会館に選定したところである。平成28年4月以降、再編対象の会館の地域住民と、廃止、解体、売却を前提としてではなく、規模を縮小した建てかえも含め、今後の方向性を協議していく考えである。



## 文教病院委員会

### 地域学習教室の拡充内容は

〈一般会計予算〉

**問** 平成27年度から実施している地域学習教室事業は、現行の池田・石橋の2教室に加えて、細河・伏尾台地域にも教室を開設して事業の拡充を図られるが、新たに開設する教室の概要を問う。

また、現在は退職した教員やふくまる教志塾の学生によって教室の運営や生徒に対する指導を行っているが、なぜ、平成28年度からは全てを民間に業務委託するのか問う。

### 新たに細河・伏尾台の公共施設で開設予定

**答** 細河・伏尾台地域での開設場所は地域内のコミュニティセンター等の公共施設を考慮しており、25名から30名程度のクラスを複数設けることによって、出来るだけ多くの生徒を受け入れたいと考えている。

また、民間に業務委託することで民間の教材や指導方法などといったノウハウを活用し、系統だった教育が実施されるものと期待している。

# 厚生委員会

## 五月丘保育所民営化の理由は

〈一般会計予算〉

**問** 本予算では保育所運営者選考委員会の委員報酬が計上されているが、市立五月丘保育所の移転・新築・民営化にあたっての運営事業者を選定することであり、「民営化ありき」で進められている。以前に緑丘保育所を民営化した際、「さらなる民営化は当分行わない」と答弁していたが、今回、五月丘保育所を民営化するとした経緯について問う。

## 国の補助金や保育士の定年退職が理由

**答** 今回の五月丘保育所の移転及び民営化については、移転予定地である国有地を市が借り上げ、プロポーザル方式で選定した運営事業者が施設建設を行い、運営する予定である。

2年前に財務省より国有地の活用方法に関する相談があったことを契機に、老朽化した五月丘保育所の再整備を民間に任せれば国からの補助も受けられ、市は12分の1の負担で済むこと、また、公立

保育所で勤務する保育士の定年退職問題も鑑み、今回の民営化となったものである。

# 土木消防委員会

## 照明柱転倒事故による今後の対応は

〈一般会計予算〉

**問** 2月に照明柱転倒事故が発生したことに鑑み、照明柱の点検はもとより公園の遊具についても同様に計画的な点検・改修が必要であると考えますが、今後の対応について問う。また、開設公園再整備事業の内容について問う。

## 市内の緊急点検を実施済公園灯3本を建てかえ

**答** 平成20年に策定された「遊具の安全基準」に基づき、遊具については年1回の定期点検を行うこととしているが、公園灯については現時点では対象外となっているため、日常の管理の中で徹底して点検していく必要があると考えている。

なお、照明柱転倒事故を受け、緊急点検を実施した結果、公園灯全418本のうち腐食が激しかった3本を早急に建てかえる予定で

ある。

また、平成28年度は、開設公園再整備事業として社会資本整備総合計画に基づき、石橋西公園と東畑公園の遊具及び五月山緑地市民の森のシエルターの更新を予定している。その他の公園についても平成24年に策定された長寿命化計画に沿って整備を進めていきたい。

## 議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月18日に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

6月 3日(金)	本 会	議 会
6月 6日(月)	委 員	会 会
6月 9日(木)	委 員	会 会
6月10日(金)	委 員	会 会
6月13日(月)	委 員	会 議
6月22日(水)	本 会	議 議
6月23日(木)	本 会	議 議

# やまばと

5月を迎え、さわやかで過ごしやすい季節となっております。

今夏に予定されている参議院選挙から、18歳選挙権が実施されます。幅広い民意が議会に反映されることは、議会制民主主義の発展につながり、また、若者の政治への関心が広まることで、社会全体の政治や選挙への関心が高まることを期待いたします。

今回の市議会だよりでは、各派代表質問をはじめ定例会、各常任委員会での審議の主な内容を掲載いたしました。活発な議論の様子がお伝えできたなら幸いです。

私たち編集委員は今回で最後の編集となります。この一年間のご愛読ありがとうございました。次号からは新編集委員に引き継ぐこととなります。引き続き市議会だよりをご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 市議会だより編集特別委員会

委員長	三宅 正起
副委員長	倉田 晃
委員	小林 吉三
委員	羽田 達也
委員	荒木 眞澄
委員	前田 敏
委員	細井 馨